

指定管理者に関するモニタリングシート

黄色のセルを施設担当課が記入

1 施設の概要

(モニタリング実施年度: 平成 30 年度)

施設の名称	東大阪市立角田総合老人センター	指定期間	27年度～	31年度
		指定の方法	複数施設を一括指定管理	
施設所管課	福祉部高齢介護室高齢介護課	連絡先	笠井(内線2775)	
設置目的	地域の高齢者に対して、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し、もって高齢者に健康で明るい生活を営ませるもの。			
施設内容・業務内容等	クラブ活動、教養講座、レクリエーション事業、地域交流事業、各種相談事業、シルバーボランティアセンター事業、高齢者地域支え合い体制づくり事業など。			
指定管理者	社会福祉法人 東大阪市社会福祉協議会	連絡先	072-962-8011	
人員体制	正規職員	10人	パート・アルバイト	1人
			その他	人

2 管理運営状況等

年度	実績			今年度(予算)	次年度(見込)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
管理形態	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
供用(開館)日数	295	294	293	293	293
指定管理委託料(千円)	112,045	113,540	112,542	116148	113500
利用状況	1 延利用者数(人)	39,798	27,046	27,513	補足説明
	2				補足説明
	3				補足説明

3 モニタリングの総括

「個別評価」(自動表示) : S=チェック項目が全て○、A=×がなく「得点」が中間点以上、
 B=×がなく中間点未満あるいは×が1個で「得点」が中間点以上、C=×が2個以上。
 「最終評価」(任意決定) : 個別の評価結果を踏まえて、評価者の裁量で決定する。

モニタリングの観点	施設担当課のモニタリング	
	個別評価 S A B C	評価できる点や要改善事項
A 行政視点 施設の設置目的が達成でき、事業の継続性が期待されるとともに、市民の安全の確保が図られているか？	A	<ul style="list-style-type: none"> PDCA手法を導入するなど自己評価を実施する仕組みづくりを構築されたい。 利用者の利便性を向上させるための中長期的な展望および事業計画を策定されたい。 報告、連絡、相談など市との連携は適正になされている。
B 管理・運営能力 人員・予算等の資源を管理し、快適に施設や設備等を利用できる環境を整備しているか？	A	<ul style="list-style-type: none"> 施設をできるだけ長期的に、良好な状態で維持管理できるよう計画的な保全に努められたい。 備品台帳を整理し、適正な備品の管理に努められたい。
C サービス 平等な利用の確保及びサービス向上が図られているか？	A	<ul style="list-style-type: none"> 各種研修などに積極的に参加し、職員の能力向上に努められたい。 教室の状況を入口付近に表示するなど、施設情報を周知する工夫がなされている。 毎月チラシを発行しているが、イベントの告知だけでなく、利用者の様子を伝える内容を記載するなど、利用者にはスポットを当てた工夫なども検討されたい。
D 市民視点 市民の声が反映される管理・運営が行われているか？	A	<ul style="list-style-type: none"> 利用者のニーズを事業に反映させられるような仕組みづくりが必要である。 ホームページの更新頻度が低いため、随時更新することが望ましい。
E 効果・効率性 施設の効果を最大限発揮しようとするとともに、管理経費の縮減が図られているか？	A	<ul style="list-style-type: none"> 世代間交流事業など、地域と連携しながら事業を実施している。 引き続き経費の削減に取り組まれたい。 空いているスペースの活用など、引き続き施設の有効活用に取り組まれたい。
F 法令等遵守 法令や各種規則等を理解し、遵守することで、社会的責任を果たしているか？	A	<ul style="list-style-type: none"> 悠友塾(委託事業)では環境コースを設け、環境意識の啓発を行っており、好評である。 情報公開の取り組みについては、事業計画書や事業報告書等の館内掲示を検討されたい。
課題への対応 今後の取組	最終評価 (任意設定) A	柱となる高齢者支え合い事業について、より積極的な事業展開を図られたい。